

令和3年度 学校評価報告書（目標設定）

| 視 点 | 4 年間の目標 (令和2年度策定) | 1 年間の目標 | 取 組 の 内 容 | | |
|-----|----------------------|--|---|---|---|
| | | | 具体的な方策 | 評価の観点 | |
| 1 | 教育課程 学習指導 | ①確かな学力をつけるために、主体的に学習に取り組む生徒が増えるよう、教科等の学習支援に取り組む。 ②生徒会活動や学校行事に積極的に関わられるように支援する | ①主体的、対話的な深い学びの実現に向けた授業改善を行う。また、主体的に学習に取り組む生徒が増えるよう、各教科において教育活動の工夫を行う。 ②生徒会役員や各行事実行委員と連携し、生徒からの意見を集め、活動に活かす。 | ①主体的に学習活動に取り組む生徒が増えるよう、各教科の工夫がなされたか。また、それらの共有がなされたか。 ②生徒の意見を踏まえて、検討したものが行事に活かされていたか。 | |
| 2 | 生徒指導・支援 | ①学習への取組みと部活動への取組み状況とを把握し、偏りのない活動となるように支援する。 ②学校生活における生徒のストレス軽減の方法を模索し、安心感のある学校生活が送れるよう支援する。 | ①部活動アンケートの実施や定期試験期間の活動予定報告などにより活動内容を把握し改善する。 ②学年会、生徒情報交換会議、いじめ等のアンケートなどを通じて生徒理解を深める。スクールカウンセラーを有効に活用する。 | ①生徒の活動状況が把握できていたか、改善が促されていたか。 ②定期的に生徒情報交換会議を行い、情報収集ができたか。スクールカウンセラーを十分に活用できたか。 | |
| 3 | 進路指導・支援 | ①探究的な活動を通して、課題解決に向けて主体的・協働的に取り組む姿勢を養う。 ②キャリア教育を充実させ、生徒の第一志望の進路実現を支援する進路指導を推進する。 | ①自身と社会のつながりに目を向け、他者と協働しながらよりよい社会を切り拓くための主体性と協調性を育む。 ②キャリア教育の視点から、適切な進路指導を行い、生徒の進路希望の実現をめざす。 | ①探究課題に対して主体的・協働的に取り組むとともに、探究手法を身に付け、適切に表現できたか。 ②国公立大学現役合格者数 40 人以上を達成したか。 難関私立大学（早稲田・慶應義塾・上智・東京理科）合格者数 60 人以上を達成したか。 | |
| 4 | 地域等との協働 | ①学校運営協議会を活性化するとともに、家庭、地域、学校間、校種間、企業等との連携を図る。 ②教育活動の情報を積極的に発信する。 | ①地域との協働を継続し、活動をより充実させるとともに、積極的な情報交換を通して新たな協働の機会を創出する。 ②ホームページ等媒体の他、安全に配慮しながら対面での交流機会を増やし直接的関係づくりに努めるとともに、新たな広報媒体を活用する。 | ①既存の協働をより充実化させるとともに、新たな協働の機会を創出することができたか。 ②安全に配慮しながら、対面での直接的な関係作り、情報発信をすすめるとともに、新たな広報媒体を活用することができたか。 | |
| 5 | 学校管理 学校運営 | ①教員のワークライフバランスを推進するために、教員の働き方改革を推進する。 ②安全安心な学校生活のための教育環境を整備する。 | ①年次休暇 15 日以上の取得率を上げる。 ②生徒が校内環境美化活動に主体的に取り組む気持ちを育てる。 ③耐震補強工事に伴う学校環境整備や安全確保を行う。 | ①教材の共有化を進めることにより仕事の効率化を図り、年次休暇の取得率を上げる。 ②通常の清掃活動だけでなく、学校行事における美化活動において、生徒美化委員会を中心とした主体的な活動を推進する。 ③耐震補強工事に伴う危険箇所の掌握に努め、安全確認等の対応に努める。 | ①教材の共有化が前年度と比較し、進んだか。年次休暇 15 日以上の取得率が 30%以上となったか。 ②年間を通じて学校環境の美化に努めることができたか。また、生徒が主体的に美化活動に取り組めたか。 ③耐震補強工事等の関係で、事故怪我なく学校運営がなされたか。 |

「教育目標・教育方針・中長期的な方針など」
 21 世紀を生き抜く、知・徳・体ともにそなえた円満にして実践力のある人材を育成する。

- 生徒の第一志望の進路実現に向けた高いレベルの学力を育成する。
- 生徒会活動や学校行事を通して主体性や自主性を育む。
- 部活動と学習の両立を図るとともに自己肯定感や規範意識、他者を思いやる心を育て豊かな人間性を涵養する。
- 個に応じた支援体制を構築する。
- 探究的な活動を通して、課題解決に向けて主体的・協働的に取り組む姿勢を養う。
- 将来社会に貢献する人材を目指し、キャリア教育を充実させる。
- 家庭、地域、学校間、校種間、企業等と連携した学校づくりを行うとともに、積極的な情報発信を行う。
- 教員のワークライフバランスを推進するための教員の働き方改革を推進する。
- 安全安心な学校生活のための教育環境を整備する。